

創業1860年「酔心」を気に入っていた横山大観が生涯愛飲し続けた「飲み飽きしない酒」造りの蔵元！



酔心山根本店は、創業1860年、約20あった銘柄をより広く認知してもらう為、統一して一つの銘柄にしたのが「酔心」。1919年(大正8年)、1921年(大正10年)、1924年(大正13年)と全国酒類品評会において3回連続一位を獲得し、名誉賞を受賞する実績を持つ。



酔心を語る上で欠かせないのが、近代日本画壇の巨匠、横山大観。昭和初期、「酔心」を気に入っていた大観と当時の社長・山根薫氏が意気投合し、大観に「一生の飲み分を約束」した話は有名。



軟水の辛口

酔心

純米酒

すいしん

蔵のこだわりは、仕込み水でミネラル分をほとんど含んでいない究極の軟水。食事との幅広い相性を追求した、やわらかな辛口のお酒。「軟水仕込」が生むキメ細かくやわらかな口当たり、そして程よい旨味を感じます。冷酒から上燗まで、季節に、また料理に併せて幅広い楽しみ方が出来るお酒。



醸造元

株式会社酔心山根本店

〒723-0011

広島県三原市東町一五五八

原料米：米(国産)・米こうじ(国産米)
日本酒度：+3.5 精米歩合：65%
アルコール度：15%
酸度：1.7

未成年の飲酒は法律で禁じられています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響する恐れがありますので、気を付けましょう。